二月のおたより

三日朝、節分祭の準備のお手伝いで、古熊神社へ。拝殿に音響設備の設置作業です。本殿の方を向いて作業し、マイクテスト OK! 設置ができました。作業が終わってふと、振り返ると、20 人余りの人が、手を合わせ、拝んでいます。まるで、私が、拝まれているようです。神様になった気分を味わいました。これも神様からのご褒美かな。「ありがとうございます」

一本そば

福島県南会津郡にある大内宿茅葺き屋根の民家が軒を連ねた江戸時代の宿場町の風景が現在も残されており、重要伝統的建造物群保存地区にも指定されています。

ここの名物一本そばは、大き目のお椀にたっぷりの冷たいそばとつゆが盛り付けられ、そこに中くらいの太さの長ねぎが一本添えられているものだ。「長ねぎを箸の代わりにして、そばを絡めて食べる」というのが正しい食べ方らしい。昔からの物ではなく、観光にと考案されたものだ。

さて、私が目をつけたのは、そばを白ネギの部分をかじりながら食べること。福井のおろしそばはすり大根をふんだんにかけて食べる。ネギもありかな。白ネギをといでたっぷりかけて食べたらどうだろう。試してみるか。

そこで、今年初めての蕎麦打ちとなります。乞うご期待！

そば粉は、福井県にある増田そば製粉所の石臼挽き越前そば粉挽きぐるみを使用。二八で打つ。加水率はちょっと少な目に 45%。この時期気温が低いので、かための仕上がりになるが、我慢してこねる。水は少ない方が、そばの角が立ち、汁が絡みやすいし、のどごしもいい。まあ、気持ちのもんだいかな。

打ち終えて、まあまあの出来だ。そこで、いよいよ試食。

ゆで時間は、40 秒。白ネギをたっぷりかけていただく。「んー。ネギをたっぷりはどうかな」「やはり大根おろしの方がいいみたい」残りのそばは大根おろしで食す。「越前そばは、これだね」と納得。

そば打ちを終えて、丸出しはまん丸に。角出しはピッタリ四角形にこれが、きれいに出来れば、一人前かな。とひとり思う蕎麦磨でります。

ロボット掃除機を使う

言うまでもなく、私は電気屋を営んでいる。だから、家電製品を扱っている。ロボット掃除機も販売している。最近、なかなか人気の商品だ。そこで今回、ロボット掃除機を取り上げることにした。手頃な値段で作りの良い商品に巡り合えたからだ。Robot 社のルンバに始まり、シャープ、パナソニックなどの製品がある。吸引力をうたい文句にダイソンも参入している。この話をしようと考えた矢先、ロボット掃除機で火災発生のニュース「えっ！」

内容は、スリムタイプの電気ヒーターをつけたまま部屋を離れて、ロボット掃除機を動かし、その場を離れる。掃除機が、ヒーターを倒したり、押したりして火災が発生したというものだ。これは、使用者の不注意によるもの。責任を押し付けられたメーカーはたまったものではない。売り上げが下がるのも間違いない。困ったものだ。

私が、お客様にロボット掃除機を薦める時は、完璧にはお掃除できませんよと言ってからお話をすすめます。つまりゴミを見つけて掃除に行くということはなく、あらかじめプログラムされたコースを動き回りそこに落ちているゴミを吸い込むのです。

メーカーによっては、センサーを搭載し、障害物をよけたりもします。そこで、今回見つけた商品は、造りも良い感じです。構造は簡単。価格も国産メーカー品の半分以下でご提供できます。使ってみての感想は、**意外とお掃除するね**と言う感じです。使い方によっては、面白い商品だと思います。「いかがですか」とさりげなく**セールス**。

電気屋で、思い出しました。企業の形態がいろんな変化をしている昨今。**電気屋**はどのように変わっていけばいいのか。いろいろと思案の蕎麦磨です。これからも受け入れてもらえるのは、**皆さんお役に立つ存在であること**。このことを大事にします。**変身！クロサキヤ**。なのだ！

今年の冬は

北海道では、**マイナス 30 度**とニュースで流れています。寒いでしょうね。一方、山口はと言えば、積雪１回。寒いと言えば寒いのですが、去年のようなことはありませんよね。水道管の破裂事故もいまのところ無し。もうスノータイヤ換えようかとさえ思います。

２月も半ば。このままで、冬将軍に帳尻合わせをしてほしくないと思います。**春は、もうすぐです。**

竪小路　蕎麦磨